

目 次

I 調査概要	1
II 調査結果	
～今年の新入社員のタイプは～	2
問1 あなたは、どんな「生き方」をしたいと思っていますか？	3
問2 あなたは、仕事と家庭のどちらを優先しますか？	4
問3 働くことについてどのように考えていますか？	5
問4 今の会社でずっと働きたいですか？	6
問5 徳島県内の企業に就職した理由は何ですか？	7
問6 今の企業を選んだ理由は何ですか？	8
問7 出世についてどう思っていますか？	9
問8 会社に望むことは何ですか？	10
問9 上司や先輩に望むことは何ですか？	11
問10 仕事や職場に関する期待・不安はありますか？	12
問11 仕事や職場で悩みや不安がある場合、誰に相談しますか？	13
問12 今の自分に自信があること、また自信がないことは何ですか？	14
問13 仕事以外で一番関心のあることは何ですか？	15
問14 休日(余暇)に最もしたいと思うことは何ですか？	16
問15 30歳時点での理想の年収を教えてください	17

I 調 査 概 要

1. 調査期間 2021年4月5日 ～ 4月9日
2. 方 法 無記名アンケート方式
3. 対 象 あわぎんビジネスカレッジ主催
「新入社員セミナー」参加者
4. 参加企業 103社
5. 参加者数 421名
6. 回答者数 277名 回収率 65.8%

(内訳)

	大学卒	短大卒	高校卒	計
男性	60	25	65	150
女性	53	39	35	127
計	113	64	100	277

(注) 短大卒に専門学校卒を含む

(参考)

職種別	営業	事務	技術	その他	計
	99	39	118	21	277

～今年の新入社員のタイプは～

1. 私生活を充実させるために仕事も頑張りたい

- ・「幸福な家庭を築きたい」「自分の能力を発揮できる生き方をしたい」とする割合が全体の53.1%を占めている。(問1)
- ・仕事と家庭の優先度では、「仕事を優先する」はわずか2.5%、「仕事と家庭のどちらも重視する」が57.4%、「家庭を優先する」も19.9%。(問2)
- ・出世に対しては、「人並みに出世したい」が37.5%を占めているが、「出世しなくても好きな仕事を楽しくやりたい」も35.4%とあまり差はない。(問7)
- ・会社に望むことは、「適正な賃金」が30.0%と最も多く、次いで「希望日に休暇を取得」25.3%、「公平な処遇」が19.5%となっている。(問8)

仕事と家庭のバランスを保ちたい、充実した私生活をおくるための報酬を得られるよう仕事も頑張るという意識が窺える。

2. 仕事に真面目に取り組み、職場での自己成長・キャリアアップを期待

- ・職業観について、「仕事を通じて技術を身に付けたい」が40.4%、「給料や休暇等の待遇が良ければ、残業や仕事の苦労はかまわない」が29.6%となり、積極的な意見が大きく伸びた。(問3)
- ・また、「定年まで働きたい」が49.8%となり、条件面ややりがい理由に転職も考えると答えた人の合計をも上回っている。(問4)
- ・自分に自信のあることは「忍耐力」「協調性」「誠実性」「責任感」、反対に自信のないことは「コミュニケーション力」「決断力」「計画性」となっている。この自己分析は育ってきた時代が反映された結果とを感じる。(問12)

真面目な人が多い世代で、新型コロナウイルスの就職活動への影響もあり、できるだけ仕事を通じて自身を高め長く働きたいと感じている。

3. 女性の仕事意欲は確実に向上

- ・仕事に対しての考え方で「仕事の苦労はかまわない」「仕事を通じて技術を身につけたい」と回答した女性が77.4%に及んだ。(問3)
- ・また、出世に関しては、「経営者や役員を目指したい」とする女性が14.2%となり、前回までの調査からはほぼ倍増している。(問7)
- ・会社に望むことについても、「適正な賃金」と「公平な処遇」で52.0%となり、特に「公平な処遇」と回答する女性の割合は年々増加してきたが、今年はその伸びも大きい。(問8)

全国的に女性活用や同一労働同一賃金に対する機運の高まっていることを反映しており、仕事に対する意欲が高い女性が多くなっている。

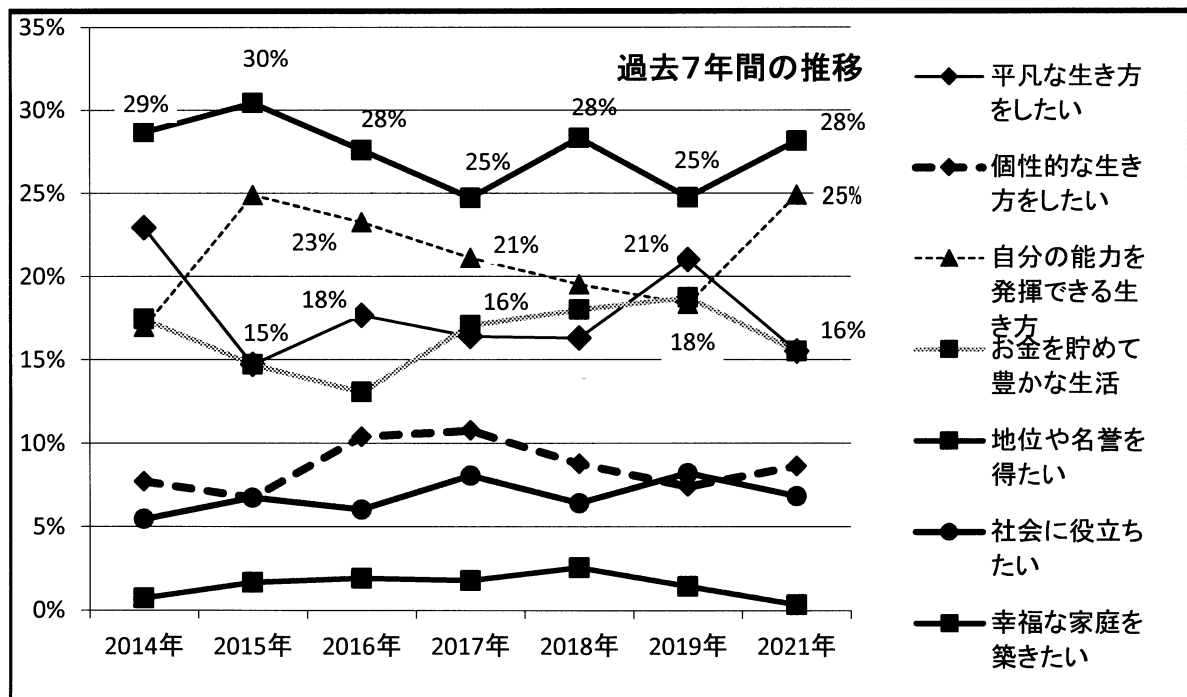
問1 あなたは、どんな「生き方」をしたいと思いますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
平凡な生き方をしたい		15.5%	17.3%	13.4%	22.0%	10.9%	12.4%
個性的な生き方をしたい		8.7%	8.0%	9.4%	8.0%	6.3%	10.6%
自分の能力を発揮できる生き方をしたい		24.9%	22.7%	27.6%	11.0%	35.9%	31.0%
お金を貯めて豊かな生活をしたい		15.5%	17.3%	13.4%	19.0%	10.9%	15.0%
地位や名誉を得たい		0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
社会に役立ちたい		6.9%	6.0%	7.9%	6.0%	6.3%	8.0%
幸福な家庭を築きたい		28.2%	28.0%	28.3%	34.0%	28.1%	23.0%

自分の能力を発揮し、幸せな家庭も築きたい

全体では、一昨年同様「幸福な家庭を築きたい」が第1位となっており、割合は28.2%で、昨年より3.5ポイント上昇した。第2位に18.4%から24.9%と6.5ポイントも増加した「自分の能力を発揮できる生き方をしたい」が入り、一昨年2位だった「平凡な生き方をしたい」は5.5ポイント低下し15.5%となった。

2015年以降低下傾向にあった「自分の能力を発揮できる生き方」の割合が大きく伸び、積極的に自分の生き方を追求する姿勢は強くなってきている。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

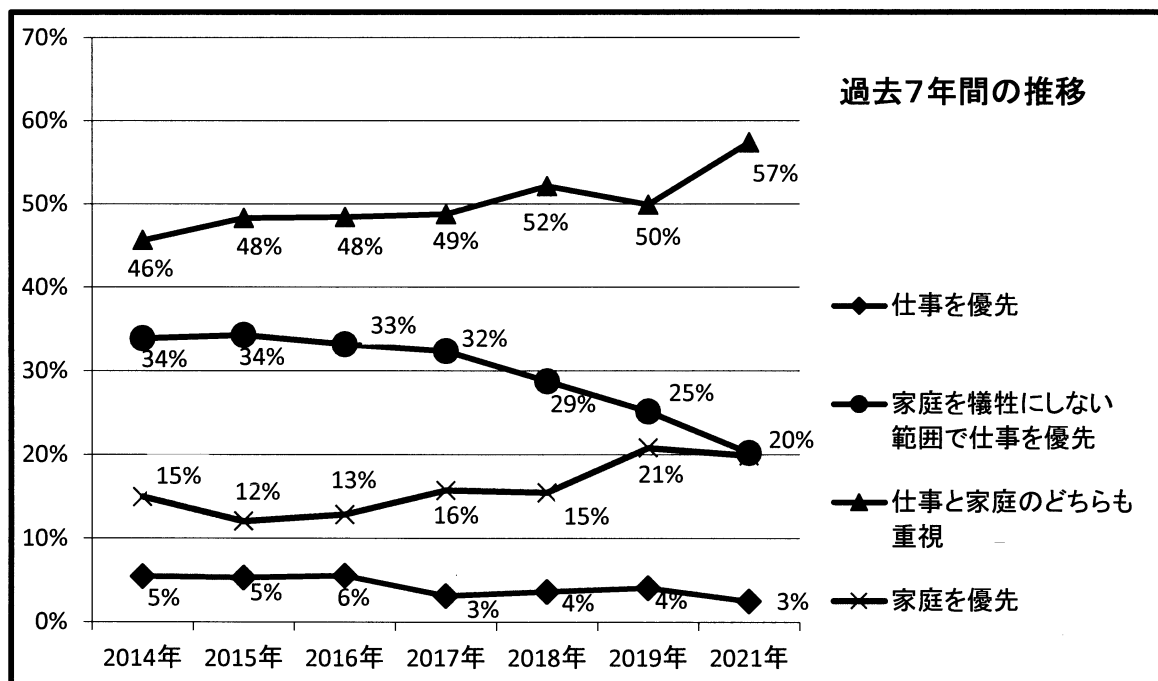
問2 あなたは、仕事と家庭のどちらを優先しますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
仕事を優先する		2.5%	4.0%	0.8%	3.0%	3.1%	1.8%
家庭を犠牲にしない範囲で仕事を優先		20.2%	23.3%	16.5%	19.0%	20.3%	21.2%
仕事と家庭のどちらも重視する		57.4%	53.3%	62.2%	61.0%	60.9%	52.2%
家庭を優先する		19.9%	19.3%	20.5%	17.0%	15.6%	24.8%

バランスを考えつつも家庭を優先する傾向

「仕事と家庭のどちらも重視する」が57.4%に上昇。一昨年より7.5ポイントも増加しており、半数以上が仕事と家庭のバランスを重視していることが窺える。

この傾向は特に女性で強く見られ、男性では「仕事と家庭のどちらも重視する」「家庭を優先する」割合は一昨年とほぼ同じ割合であるのに対して、女性では「仕事と家庭のどちらも重視する」が18.7ポイント増加、「家庭を優先する」割合は3.9ポイント増加している。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

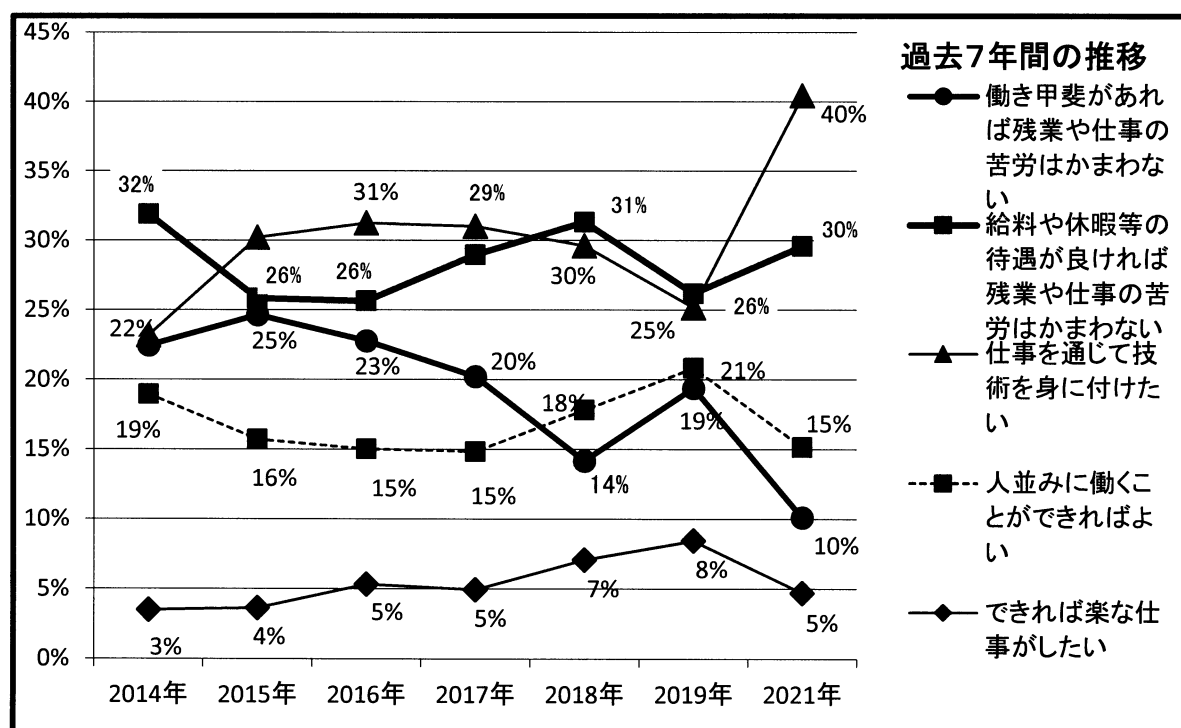
問3 働くことについてどのように考えていますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
働き甲斐があれば残業や仕事の苦労はかまわない		10.1%	11.3%	8.7%	9.0%	12.5%	9.7%
給料や休暇等の待遇が良ければ、残業や仕事の苦労はかまわない		29.6%	29.3%	29.9%	32.0%	32.8%	25.7%
仕事を通じて技術を身に付けたい		40.4%	42.7%	37.8%	42.0%	40.6%	38.9%
人並みに働くことができればよい		15.2%	12.0%	18.9%	14.0%	7.8%	20.4%
できれば楽な仕事がしたい		4.7%	4.7%	4.7%	3.0%	6.3%	5.3%

自分を高めてそれに見合った報酬を得る

一昨年まで減少傾向であった「仕事を通じて技術を身に付けたい」が男女とも大きく伸び(+15.2ポイント)、第1位となり、第2位の「給料や休暇等の待遇が良ければ、残業や仕事の苦労はかまわない」と合わせて全体の7割を占めた。一方で増加傾向であった「人並みに働くことができればよい」「できれば楽な仕事をしたい」は、8.5ポイントも減少。専門職人材のニーズの高まりや、新型コロナウイルスが及ぼす就職や働き方への影響を感じ取り、求められるスキルを高めそれを以て経済的な豊かさも追及するといった意識が伺える。

男女別に見ても同様な結果となったが、今まであまり項目別の変動が少なかった女性について、「人並みに働くことができればよい」「できれば楽な仕事をしたい」の2項目が大きく減少しており、女性の社会進出が進んできたことが意識の中にも反映されている。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

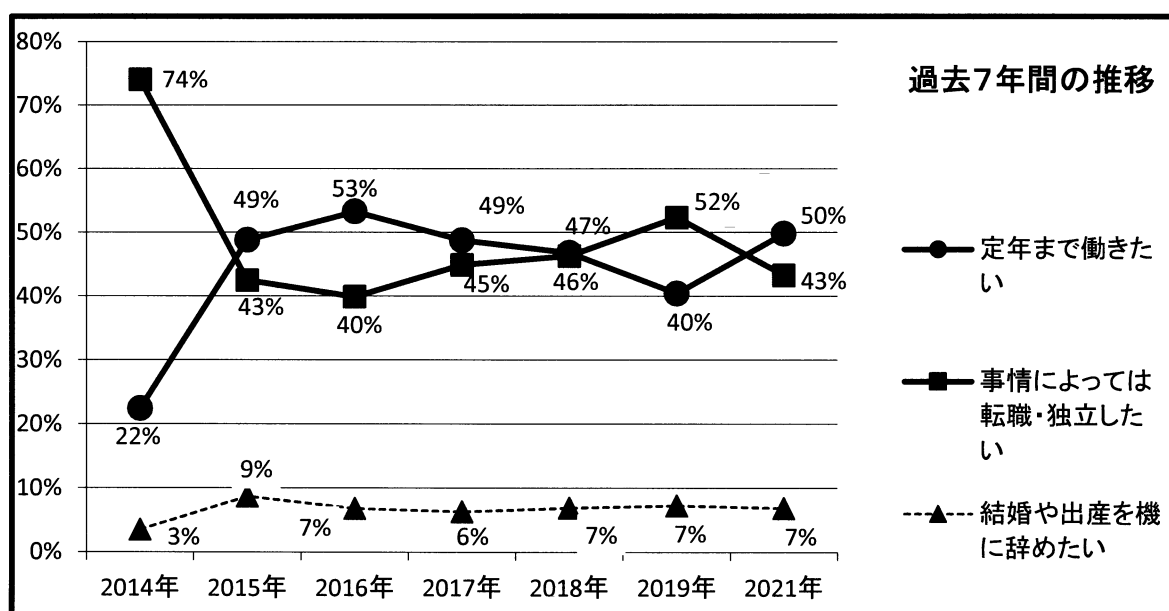
問4 今の会社ですっと働きたいですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
定年まで働きたい		49.8%	55.3%	43.3%	60.0%	35.9%	48.7%
条件のよい会社があれば転職したい		10.1%	12.0%	7.9%	10.0%	9.4%	10.6%
自分に向かないと思えば転職したい		23.5%	22.7%	24.4%	24.0%	17.2%	26.5%
技術を覚えたら独立(転職)したい		9.7%	9.3%	10.2%	2.0%	25.0%	8.0%
結婚や出産を機に辞めたい		6.9%	0.7%	14.2%	4.0%	12.5%	6.2%

「定年まで働きたい」と「転職」「独立」半々

項目別に見ると、第1位は一昨年同様「定年まで働きたい」となったが、その割合49.8%と前回調査時に比べ9.4%と大幅増。反対に、条件面ややり甲斐などを理由に転職も考えるとした人の割合は52.4%から43.3%と大幅減となり、終身勤続志向が回復した。

男女とも大きな傾向としては上記通りだが、男性は「転職したい」3項目すべての割合が低下したことに対し、女性は「技術を覚えたら独立(転職)したい」がほぼ倍増し10.2%となった。ここでも女性の社会進出の浸透と自立性の高まりが見て取れる。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

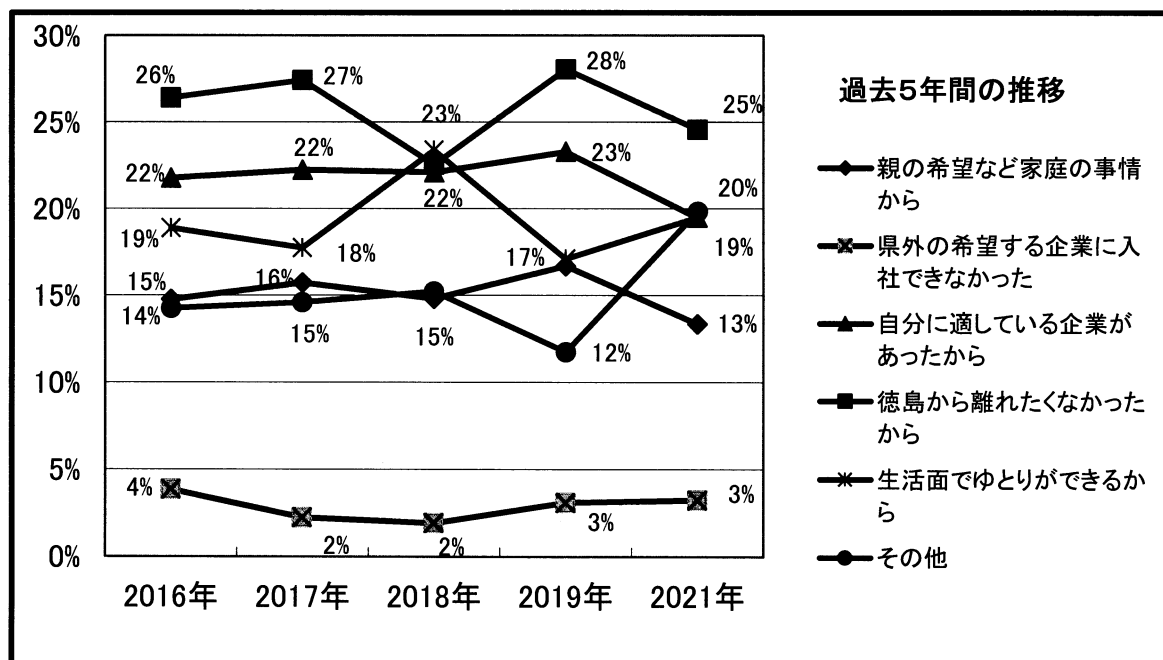
問5 徳島県内の企業に就職した理由は何ですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
親の希望など家庭の事情から		13.4%	14.0%	12.6%	14.0%	12.5%	13.3%
県外の希望する企業に入社できなかった		3.2%	3.3%	3.1%	2.0%	0.0%	6.2%
自分に適している企業があったから		19.5%	17.3%	22.0%	16.0%	21.9%	21.2%
徳島から離れたくなかったから		24.5%	26.0%	22.8%	34.0%	10.9%	23.9%
生活面でゆとりができるから		19.5%	22.0%	16.5%	25.0%	17.2%	15.9%
その他		19.9%	17.3%	22.8%	9.0%	37.5%	19.5%

故郷の企業で地に足をつけて

全体では「徳島から離れたくなかった」が24.5%で第1位となり、「その他」が19.9%と前回の第5位から第2位となった。続いて「自分に適している企業があったから」と「生活面でゆとりができるから」が、それぞれ19.5%で第3位となった。例年通り「その他」を除く上位3項目で6割強を占めており、総じて県内企業選択も理由は地元への愛着と、受皿となる企業の存在が大きいことが考えられる。

男女別に見ても、その割合にあまり差はないが、今回は女性では「徳島から離れたくなかった」の割合が22.8%と前回比▲9.3%と大きく低下した。学歴別で目立つのは、高校卒で「徳島から離れたくなかったから」が34.0%と高く、これは3年連続の上昇。若い世代での地元志向も伺える。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問6 今の企業を選んだ理由は何ですか？

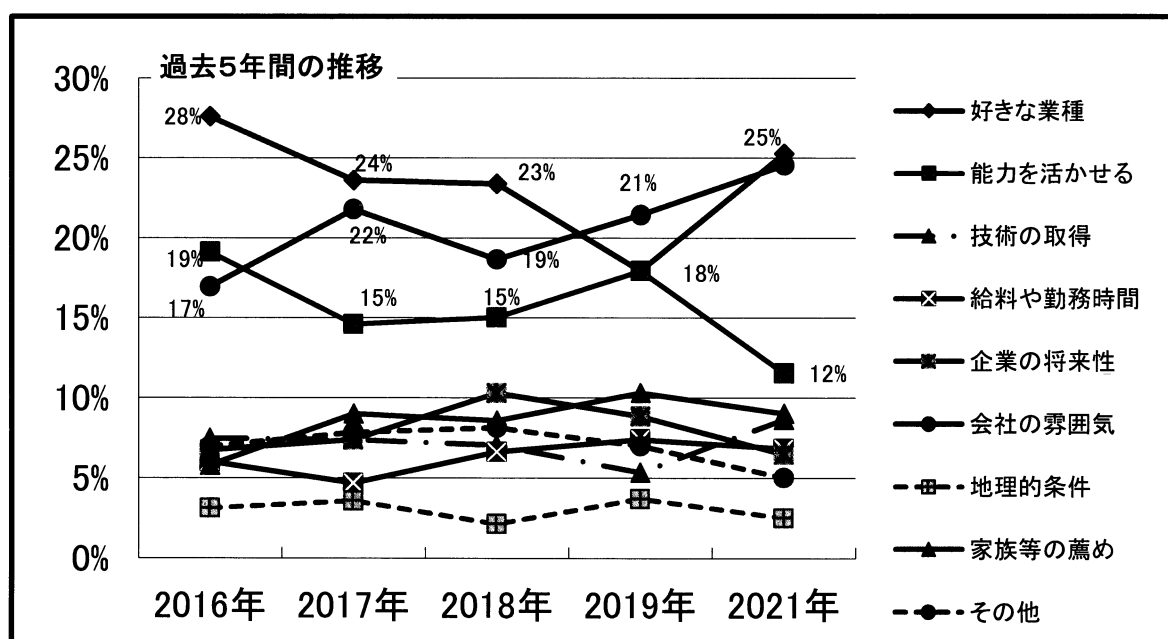
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
自分の好きな業種だから		25.3%	23.3%	27.6%	21.0%	32.8%	24.8%
自分の能力や個性を生かせるから		11.6%	9.3%	14.2%	11.0%	15.6%	9.7%
技術が覚えられるから		8.7%	12.7%	3.9%	11.0%	7.8%	7.1%
給料や勤務時間等の条件が良い		6.9%	9.3%	3.9%	9.0%	4.7%	6.2%
将来性のある企業だから		6.5%	6.0%	7.1%	5.0%	6.3%	8.0%
会社の雰囲気が良いから		24.5%	21.3%	28.3%	21.0%	25.0%	27.4%
地理的条件が良いから		2.5%	2.7%	2.4%	0.0%	1.6%	5.3%
家族や恩師に薦められたから		9.0%	11.3%	6.3%	20.0%	1.6%	3.5%
その他		5.1%	4.0%	6.3%	2.0%	4.7%	8.0%

自分の価値で会社を選ぶ

上位3項目は例年と同じだが、「自分の好きな業種だから」が25.3%で一昨年の第2位から第1位となり、「会社の雰囲気が良いから」、「自分の能力や個性を生かせるから」と続いた。上位2つの意見で約50%を占め、やはり自分の目指すべき職種や企業のイメージを重要視していることが分かる。

男女別で見ても上位選択肢は同様だが、女性において「会社の雰囲気が良いから」は毎年比率が上昇しており、今回は第1位となっている。また、男性では「技術が覚えられるから」が一昨年の5.8%から12.7%と大きく伸びており、これは問3ともリンクする結果となっている。

学歴別では、高校卒が幅広く意見が分散しているのに対して、大学卒では業種や会社の雰囲気を重視するに集中している点で大きく違いが出ている。高校卒は「家族や恩師に薦められた」も20%を占めており、社会経験の多寡が影響している可能性が考えられる。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(上位3項目のみ表示)

(将来像)

問7 出世についてどう思っていますか？

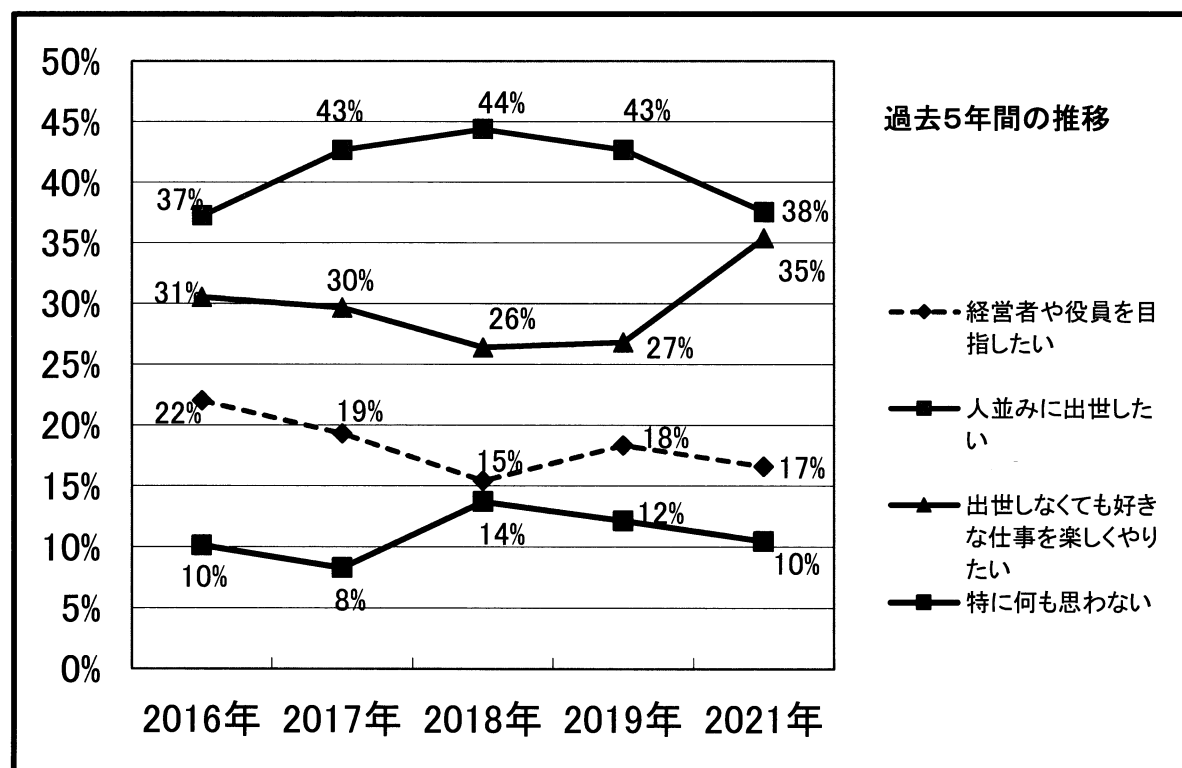
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
経営者や役員を目指したい		16.6%	18.7%	14.2%	18.0%	20.3%	13.3%
人並みに出世したい		37.5%	42.7%	31.5%	36.0%	32.8%	41.6%
出世しなくても好きな仕事を楽しくやりたい		35.4%	28.7%	43.3%	34.0%	39.1%	34.5%
特に何も思わない		10.5%	10.0%	11.0%	12.0%	7.8%	10.6%

「出世」に対する関心は薄く

一昨年までと同様に「人並みに出世したい」とする割合が第1位となり、第2位以降の順位も例年と変わりはない。ただし、「経営者や役員を目指したい」と「人並みに出世したい」を合わせた割合が54.1%で、これは過去最低となった。

男女別で順位を見ても前回と変わりはないが、その中身は若干差が出ている。男性においては「出世しなくても好きな仕事をやりたい」の割合が年々上昇していることが目立つ。女性も同じことは言えるが、一方で「経営者や役員を目指したい」が14.2%まで上昇しており、男性の割合に迫ってきている。

男性は「出世」を意識し、女性は「働きやすさ」を志向する、という傾向が薄らいでいる。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

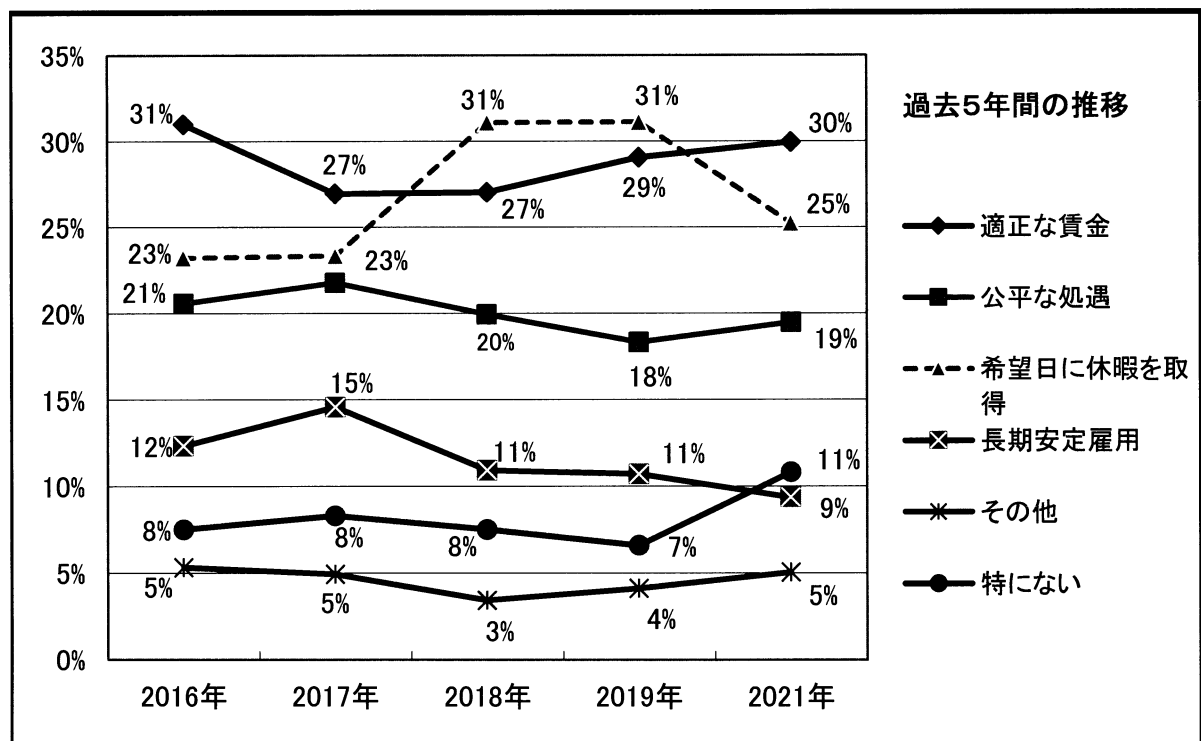
問8 会社に望むことは何ですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
適正な賃金		30.0%	32.0%	27.6%	34.0%	26.6%	29.2%
公平な処遇		19.5%	15.3%	24.4%	14.0%	20.3%	23.9%
希望日に休暇を取得		25.3%	26.0%	24.4%	23.0%	28.1%	24.8%
長期安定雇用		9.4%	12.0%	6.3%	12.0%	4.7%	10.6%
その他		5.1%	4.0%	6.3%	4.0%	10.9%	2.7%
特にない		10.8%	10.7%	11.0%	13.0%	9.4%	8.8%

女性の「処遇」に対する意識が上昇

一昨年まで2年連続で第1位だった「希望日に休暇を取得」の割合が低下し、「適正な賃金」が4年ぶりに第1位となった。以下「希望日に休暇を取得」「公平な処遇」「長期安定雇用」と続くが、「長期安定雇用」を望む割合は年々低下。問4で「今の会社で定年まで働きたい」が1位になっていることと矛盾するかもしれないが、若い世代に転職のハードルは低くなっていることを反映している。

ここでも女性のアンケート結果に大きな特徴が見られる。「公平な処遇」を希望する声が徐々に高くなり、「希望日に休暇を取得」は低下、結果同率2位となった。また男性と違い、1位の「適正な賃金」との差はほとんどなくなった。自身の仕事がきちんと評価され、それが賃金に反映されることを希望していることがわかる。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問9 上司や先輩に望むことは何ですか？

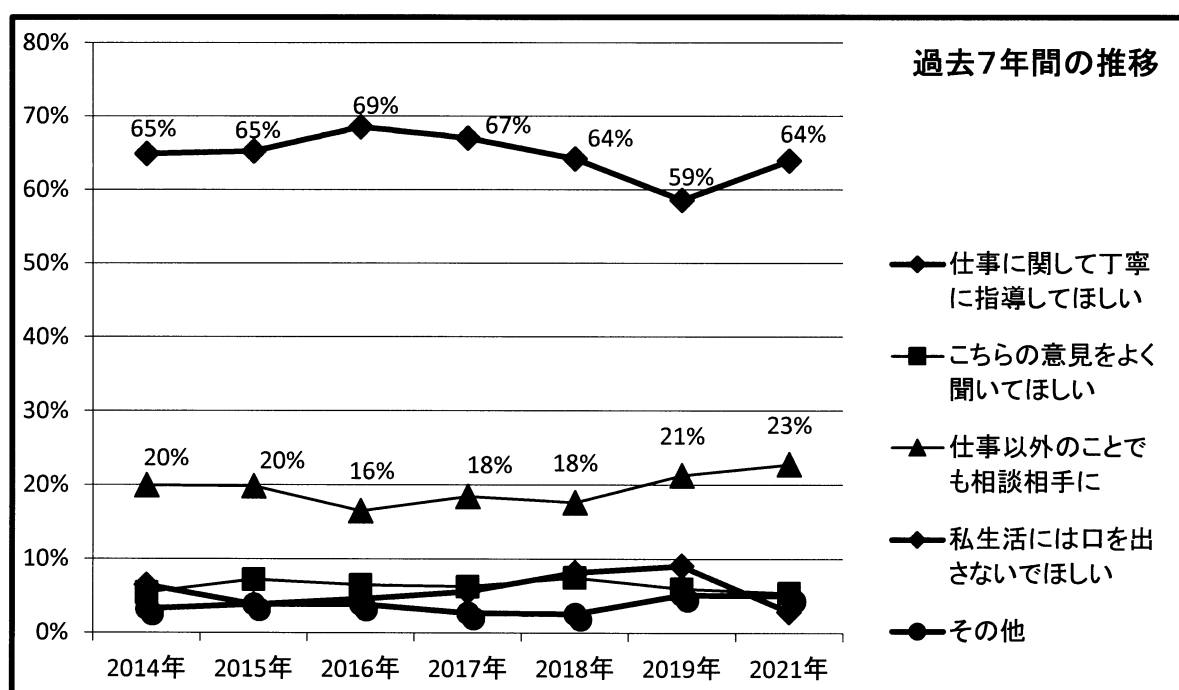
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
仕事に関して丁寧に指導してほしい		63.9%	60.7%	67.7%	57.0%	75.0%	63.7%
こちらの意見をよく聞いてほしい		5.4%	4.7%	6.3%	6.0%	4.7%	5.3%
仕事以外のことでも相談相手になってほしい		22.7%	26.7%	18.1%	30.0%	17.2%	19.5%
私生活には口を出さないでほしい		2.9%	3.3%	2.4%	3.0%	0.0%	4.4%
その他		5.1%	4.7%	5.5%	4.0%	3.1%	7.1%

親切で丁寧な指導が必要

第1位は「仕事に関して丁寧に指導してほしい」の63.9%で、他の項目を大きく上回っている。一昨年までは低下傾向にあったが、今回は反転した。また、第2位の「仕事以外のことも相談相手になってほしい」は過去5年間上昇が続いている。

男女別に見ると、「仕事に関して丁寧に指導してほしい」では、前回比で男性が5.6ポイント、女性は4.0ポイントそれぞれ上昇。また、「仕事以外のことでも相談相手になってほしい」では、前回比で男性が4.4ポイント上昇しているのに対して、女子は1.6ポイント低下した。

学歴別では、高校卒で「仕事以外のことでも相談相手になってほしい」が30.0%と短大・大学卒に比べて目立っており、初めての社会人生活に対して、新鮮な不安が感じられる。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(主要3項目のみ記載)

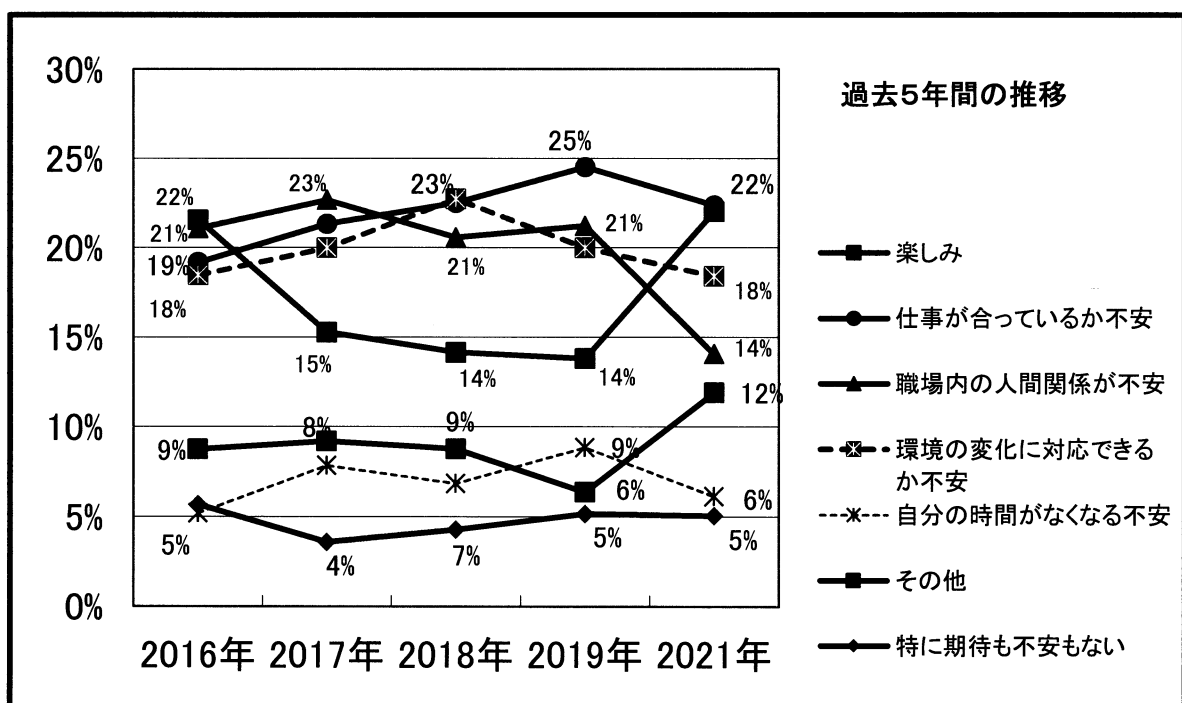
問10 仕事や職場に関する期待・不安はありますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
楽しみである		22.0%	22.0%	22.0%	23.0%	23.4%	20.4%
仕事が自分に合っているかどうか不安		22.4%	20.0%	25.2%	20.0%	25.0%	23.0%
上司・先輩・同僚との人間関係が不安		14.1%	17.3%	10.2%	20.0%	12.5%	9.7%
環境の変化に対応できるかどうか不安		18.4%	16.7%	20.5%	13.0%	12.5%	26.5%
自分の時間がなくなるのではないかと不安		6.1%	7.3%	4.7%	8.0%	6.3%	4.4%
その他		11.9%	11.3%	12.6%	10.0%	17.2%	10.6%
特に期待も不安もない		5.1%	5.3%	4.7%	6.0%	3.1%	5.3%

不安6割、自分の適性や対応力に不安

前回と同じ「仕事が自分に合っているかどうか不安」が22.4%で第1位。しかし、「楽しみである」が5年ぶりに上昇、それも大きく上昇し22.0%で2位となった。なんらかの不安があると答えた人は約60%に及ぶが、4項目すべてにおいて低下。特に「上司・先輩・同僚との人間関係が不安」と答えた人の割合は男女別、学歴別でもすべての単位で低下、初めて20%を割り14.1%となった。

新社会人・新入社員としての「不安感」は誰もが当然抱えているが、各企業が採用活動や入社前のフォローなどに工夫を凝らし、その「不安感」を少しでも和らげようと努力した結果ではないだろうか。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問11 仕事や職場で悩みや不安がある場合、誰に相談しますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
職場の上司		5.8%	6.0%	5.5%	5.0%	7.8%	5.3%
職場の先輩・同僚		30.3%	34.7%	25.2%	31.0%	23.4%	33.6%
職場以外の先輩や友人		28.9%	26.7%	31.5%	25.0%	32.8%	30.1%
家族		31.8%	27.3%	37.0%	37.0%	29.7%	28.3%
恩師		0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
誰にも相談せず自分で解決する		2.9%	4.7%	0.8%	2.0%	6.3%	1.8%

やはり身近な相談相手を求める

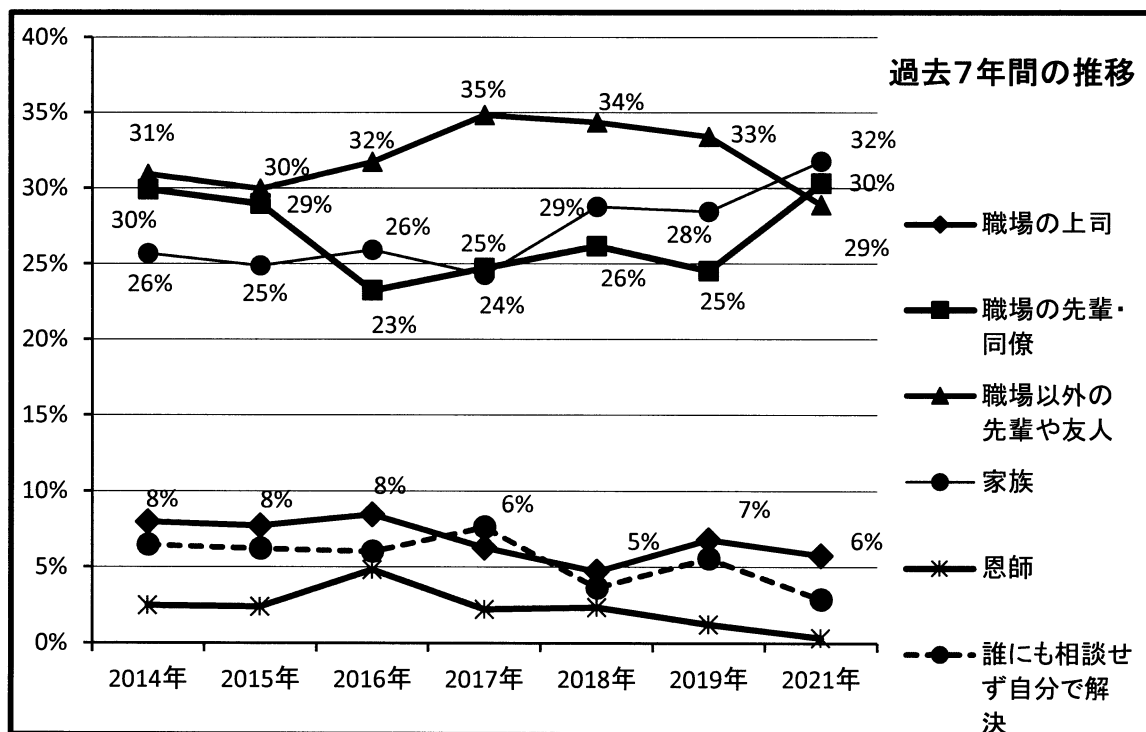
「家族」が31.8%となりこの調査開始以来初めての第1位となった。続いて第2位が「職場の先輩・同僚」の30.3%、第3位に前回まで第1位の「職場以外の先輩や友人」で28.9%となった。

第1位になった「家族」とする項目について見ると、前回比で全体で3.3ポイント上昇、男女別や学歴別でもほぼすべてのセグメントにおいて上昇している。

第2位の「職場の先輩・同僚」に相談すると回答した割合は、前回比で全体で5.8ポイント上昇、男女別では男性が8.3ポイント、女性は3.4ポイント上昇した。

一方、「職場以外の先輩や友人」についてみると、男女別では男性が6.9ポイント低下、女性が1.7ポイントの低下となり、全体で4.5ポイントの低下となり過去9年間継続していた第1位から第3位となった。

男性の第1位は「職場の先輩・同僚」であるのに対して、女性は「家族」となっており、より身近に信頼できる相手を求めている様子が窺える。

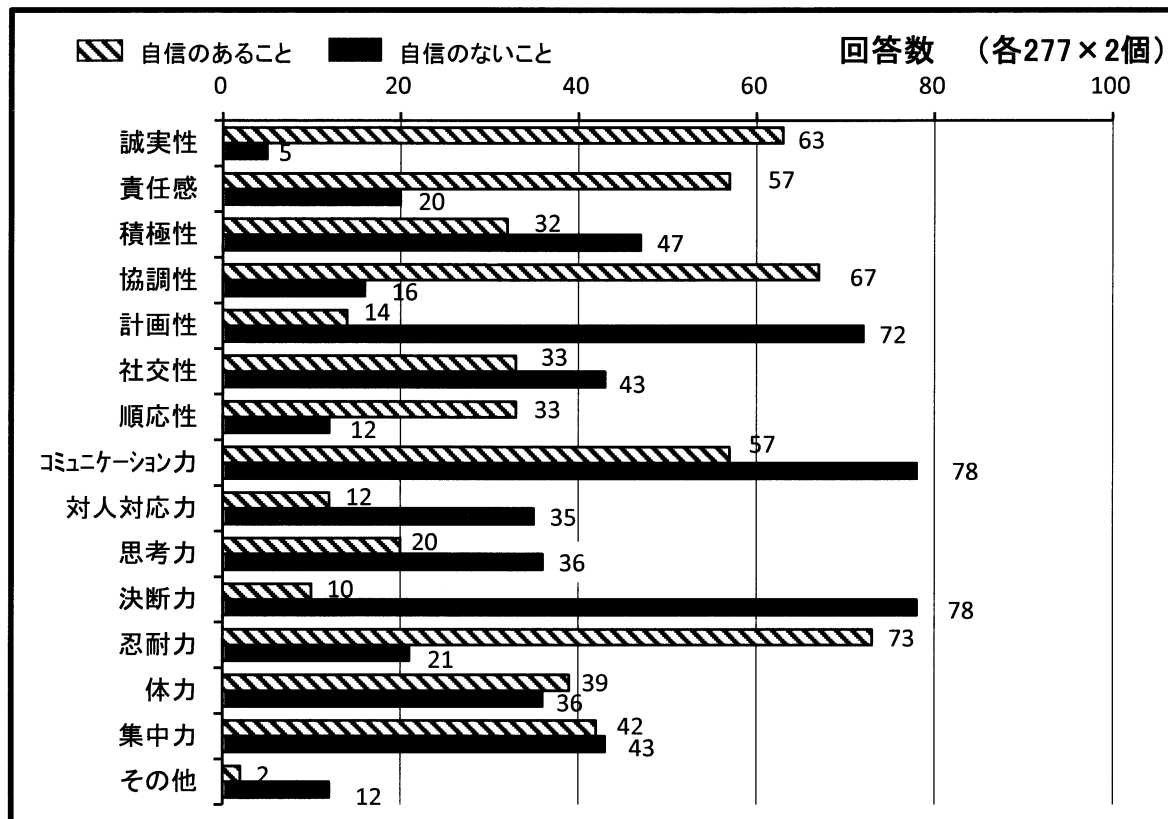


※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(上位4項目のみ記載)

(自己分析)

問12 今の自分に自信があること、また自信がないことは何ですか？

自信のあること、自信のないことをそれぞれ2つ選択



課題解決に必要な能力に自信がない

自信のあることの上位3項目は、第1位「忍耐力」、第2位「協調性」、第3位「誠実性」となっており、一昨年と同じ項目が並んだ。一方、自信のないことでは、第1位「コミュニケーション力」と「決断力」、ついで「計画性」となり、前回第3位の「積極性」は第4位となった。

自信のあること、ないことともに、毎年同じ項目が上位に並んでおり、基本的な精神構造に大きな変化がない。多様な価値を理解し、高い生産性を実現するために、自信がないと認識しているコミュニケーション能力を高めることが重要である。

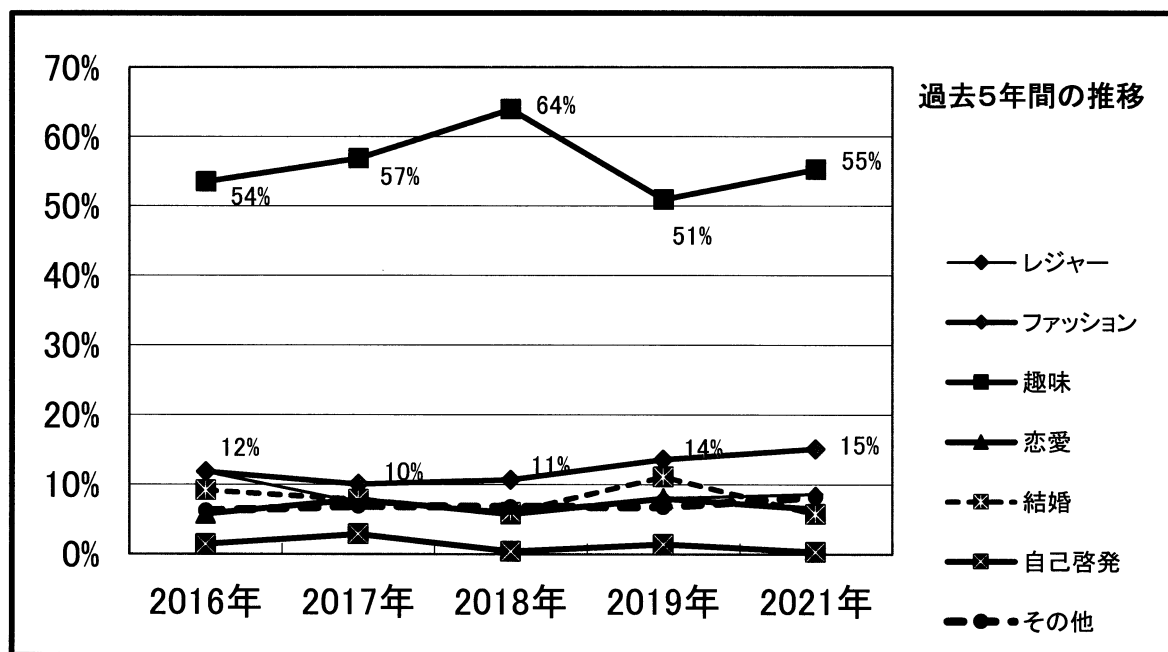
問13 仕事以外で一番関心のあることは何ですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
レジャー		8.7%	11.3%	5.5%	5.0%	10.9%	10.6%
ファッション		15.2%	8.0%	23.6%	15.0%	23.4%	10.6%
趣味		55.2%	60.0%	49.6%	54.0%	53.1%	57.5%
恋愛		6.5%	7.3%	5.5%	10.0%	1.6%	6.2%
結婚		5.8%	5.3%	6.3%	5.0%	3.1%	8.0%
自己啓発		0.4%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.9%
その他		8.3%	8.0%	8.7%	11.0%	7.8%	6.2%

「個人で楽しむこと」が最大の関心

毎回同様「趣味」が55.2%で圧倒的な第1位。男女別・学歴別に見てもすべてのセグメントで第1位となっている。第2位が「ファッション」で15.2%だが、これは男性8.0%、女性で23.6%と大きく差がでている。第3位のレジャーについても男性と女性には開きあり。一方で「恋愛」「結婚」と回答した人の割合が男女とも低下しており、特に女性の「結婚」は前回の16.6%から6.3%と大きく低下した。

「趣味」「ファッション」「レジャー」といった個人の「楽しみ」に関心事の比重は高く、「結婚」などの生活に直結したテーマへの関心は低下。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(上位2項目のみ記載)

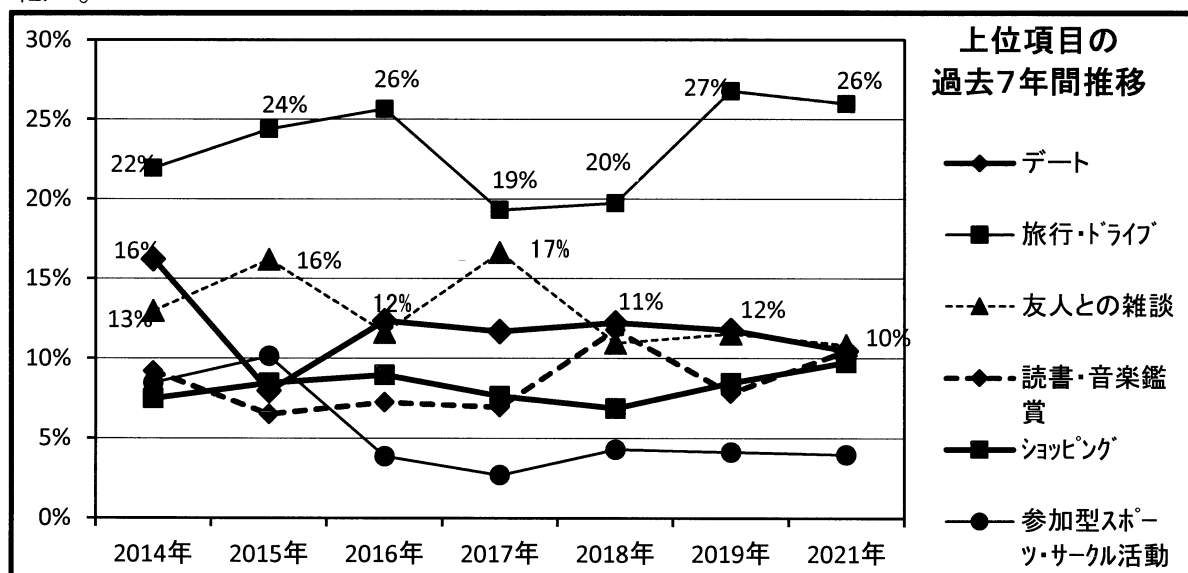
問14 休日(余暇)に最もしたいと思うことは何ですか？

項目	分類	全体	男性			女性		
			高校卒	短大卒	大学卒	高校卒	短大卒	大学卒
デート		10.5%	18.5%	12.0%	5.0%	8.6%	5.1%	11.3%
旅行・ドライブ		26.0%	27.7%	24.0%	16.7%	22.9%	41.0%	26.4%
インターネット		6.5%	12.3%	4.0%	5.0%	2.9%	2.6%	7.5%
参加型スポーツ		4.0%	4.6%	12.0%	5.0%	0.0%	0.0%	3.8%
スポーツ観戦		4.0%	4.6%	8.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
読書・音楽鑑賞		10.5%	7.7%	8.0%	11.7%	14.3%	7.7%	13.2%
ショッピング		9.7%	0.0%	4.0%	1.7%	25.7%	20.5%	15.1%
友人との雑談		10.8%	9.2%	12.0%	16.7%	8.6%	10.3%	7.5%
クラブ・サークル活動		1.1%	3.1%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
パチンコ等の娯楽		1.4%	1.5%	4.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
仕事や資格に関する勉強		1.1%	0.0%	4.0%	1.7%	0.0%	0.0%	1.9%
社会貢献活動		0.4%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他		12.3%	10.8%	8.0%	16.7%	11.4%	10.3%	13.2%
特になし		1.8%	0.0%	0.0%	3.3%	5.7%	2.6%	0.0%

のんびりと休日を過ごそうと考えている

今回は一昨年比0.8ポイントの低下となったが、「旅行・ドライブ」が26.0%で11回連続の第1位となった。「友人との雑談」も0.7ポイント低下したが、前回の第3位から第2位に。同10.5%で第3位に入った「デート」と「読書・音楽鑑賞」はそれぞれ前回比1.3ポイントの低下と2.7%の上昇。上位で比率が上昇したのは「読書・音楽鑑賞」のみで、全体的は分散する傾向。この傾向は特に男性で顕著であり、逆に女性は「旅行・ドライブ」「読書・音楽鑑賞」に「ショッピング」を加えた3項目に集中している。

休日を自己啓発に使おうという考えや社会貢献活動を通じた地域との関わりの意識は低い。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(上位3項目のみ記載)

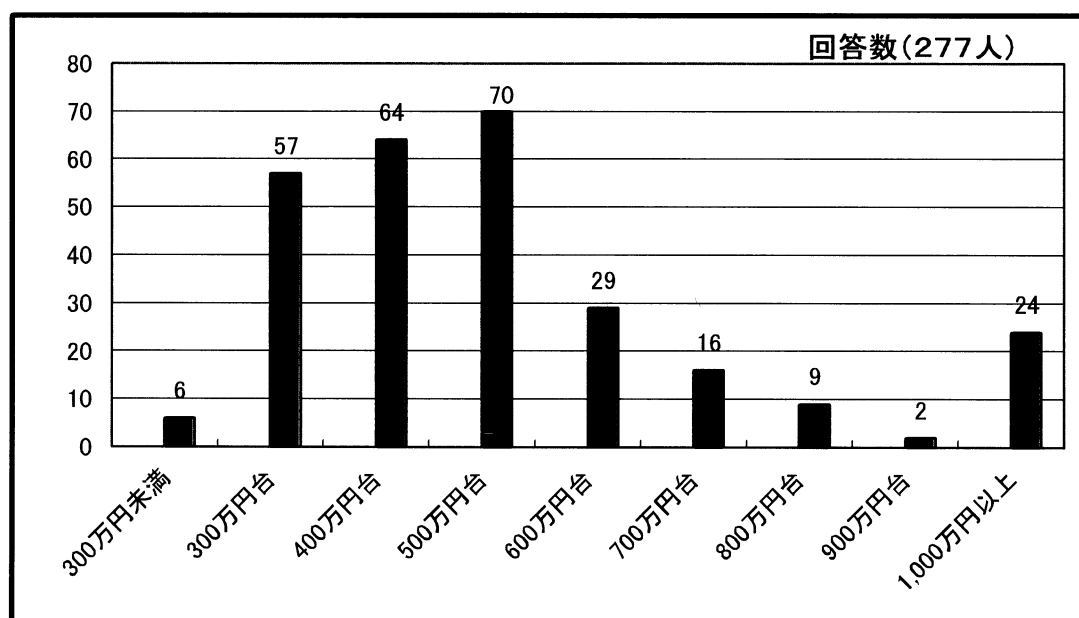
(プライベート)

問15 30歳時点での理想の年収を教えてください

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
300万円未満		2.2%	1.3%	3.1%	3.0%	3.1%	0.9%
300万円台		20.6%	15.3%	26.8%	23.0%	20.3%	18.6%
400万円台		23.1%	19.3%	27.6%	16.0%	29.7%	25.7%
500万円台		25.3%	23.3%	27.6%	29.0%	23.4%	23.0%
600万円台		10.5%	16.7%	3.1%	10.0%	4.7%	14.2%
700万円台		5.8%	8.0%	3.1%	2.0%	9.4%	7.1%
800万円台		3.2%	4.0%	2.4%	5.0%	3.1%	1.8%
900万円台		0.7%	0.0%	1.6%	1.0%	0.0%	0.9%
1,000万円以上		8.7%	12.0%	4.7%	11.0%	6.3%	8.0%

理想年収への期待は増加

一昨年と同じく第1位は「500万円台」で、続いて「400万円台」「300万円台」となっている。男女別に見ると男性の方が目線は高い。徳島県の平均年収を考えると比較的現実的な回答と感じるが、前回調査くらいから「600万円台」以上の割合が上昇しており、以前よりは収入面での期待感が増している。



－ ご利用に際して －

- ☐ 本資料はアンケート結果に基づいて作成されていますが、当行がその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ☐ 本資料に基づくお客さまの決定、行為、及びその結果について、当行は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。